

農作物を通じた 地域内バリューチェーンの創出 — 十勝へのラッカセイの新規導入 —

帯広畜産大学 環境農学研究部門 准教授 秋 本 正 博

はじめに

十勝は日本の食料生産を支える国内最大の農業地帯です。しかしながら、産業として十勝の農業を見た場合、必ずしも他地域に比べ優先しているとは言いがたい側面もあります。ひとつの例として、「付加価値率」、すなわち農業生産物に対して地域内でどのくらいの付加価値が付けられているかの指標を他地域と比較すると、九州全体で1.85、北海道全体で1.80となるのに対し、十勝はわずか1.15と極めて低い値になります（2019年度）。これは、十勝では他地域に比べて農産物に十分な付加価値が付けられていないこと、換言すると農産物を通じたバリューチェーンが築けていないことを意味しています。十勝の農業の振興を考えるにあたり、生産性を向上させることも重要ですが、それに加えて地域内のバリューチェーンにより農産物に付加価値を与える仕組みを考えていくことも必要なのです。私は、このような事柄を念頭に、換金性が高く付加価値を生み出せる作物を十勝へと新規に導入する研究を行っています。（図1）

十勝内における農業関連の産業構造

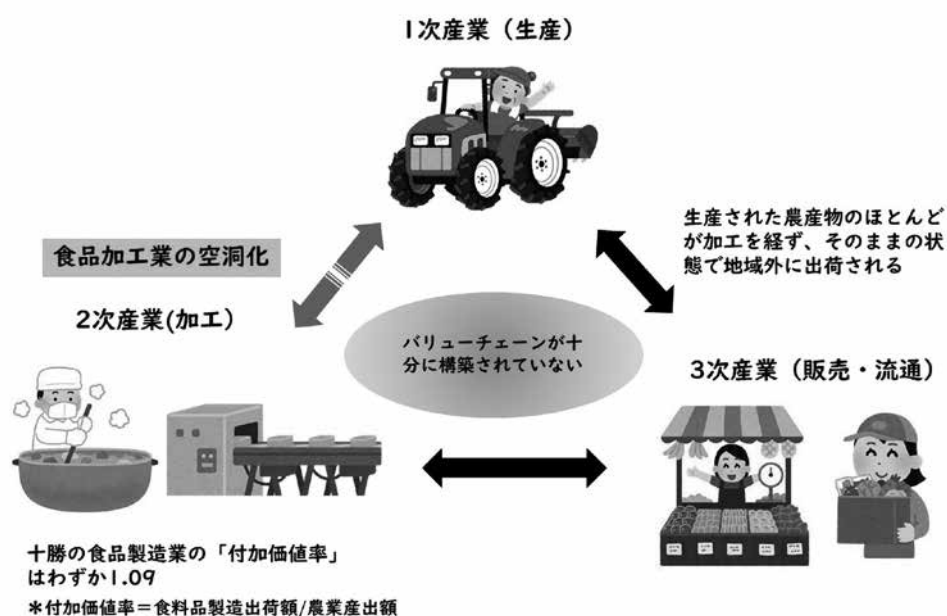


図1. 十勝内における農業関連の産業構造